

電池式



業界初!! 2012年6月調べ



手動式防火(防煙)シャッター用(屋内専用)

電池式避難時停止装置

建築基準法施行令第112条14項*に適合する当社の危害防止機構に、新駆動方式の「電池式避難時停止装置」があらたに加わりました。



● 施工が短縮

従来必要だったAC電源の工事がいらないので、取り付け工事が短時間で終了します。

● ランニングコストカット

入手性の高い市販のCR123A電池を使用しているため、従来と比べてランニングコストが抑えられます。

● 簡単メンテナンス

手元の手動閉鎖装置内の電池交換だけなので、専門技術者を呼ぶことなくお客様自身で電池交換が可能になりました。

● 新設にも既設にも対応(防災信号が連続の場合のみ使用可能)

後付けが可能なので、危害防止機構を備えていない既設のシャッターにもおすすめです。

● 大臣認定にも対応可能

耐火クロス製防火・防煙スクリーン「サンシリカスクリーン」や幅が5m以上の防煙シャッターにも対応可能です。

こんな場所におすすめ

工場、倉庫、商業施設、病院など。
常時開放となっている防火防煙区画など。









ご注意 型式の古いものや他社商品には対応できない場合があります。

防災信号は、DC24V、400mAの連続供給が必要です。

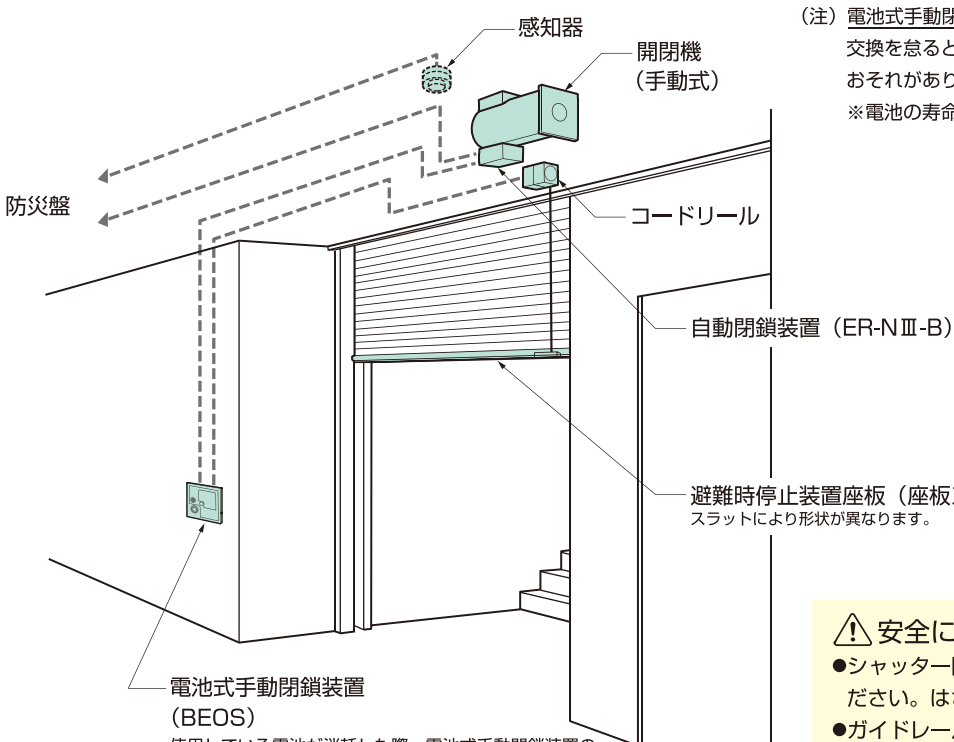


*2005年12月の建築基準法改正により、人が通る場所に設置されている防火(防煙)シャッターには「危害防止機構の設置」が義務づけられています。また、2008年4月には建築基準法第12条に基づく定期報告制度が変更され、特殊建築物などの所有者・管理者には防火設備の作動状況について定期的な調査報告が義務づけられています。

電池式避難時停止装置の動作説明

煙(熱)を感知 ▶ シャッター閉鎖	障害物を検知 ▶ シャッター停止	シャッター再度閉鎖	閉鎖
 <p>1</p>	 <p>2</p>	 <p>3</p>	 <p>4</p>
<p>座板スイッチ OFF</p> 	<p>座板スイッチ ON</p> 	<p>座板スイッチ OFF</p> 	<p>座板スイッチ ON</p> 
<p>火災時に感知器からの信号を受けると、自動閉鎖装置（ブレーキ解放装置）が作動し、ブレーキが解放されシャッターが閉鎖します。</p>	<p>シャッター閉鎖中に座板スイッチが人などの障害物を検知すると、ブレーキが復帰し、シャッターが一旦停止します。</p>	<p>障害物がなくなると、タイマにより約10秒後にブレーキが解放されてシャッターが再び閉鎖を開始し、完全に閉まります。</p>	<p>障害物を再検知した場合は2と3をくり返し、確実に閉鎖します。</p>

電池式避難時停止装置のシステム構成図



(注) 電池式手動閉鎖装置の電池の寿命は約3年です。交換を怠ると避難時停止装置が正しく作動しないおそれがあります。
※電池の寿命3年を保証するものではありません。

感知器
開閉機（手動式）
コードリール
自動閉鎖装置（ER-NⅢ-B）
避難時停止装置座板（座板スイッチ）
スラットにより形状が異なります。

電池式手動閉鎖装置（BEOS）
使用している電池が消耗した際、電池式手動閉鎖装置の異常表示ランプが点灯、もしくは点滅でお知らせします。
(注) 異常が表示されない場合でも、電池は3年で交換してください。

⚠ 安全に関するご注意

- シャッター閉鎖中は避難扉から避難してください。はさまれると危険です。
- ガイドレール内部およびガイドレールぎわ約5cmの範囲は、避難時停止装置座板の不検知エリアのため、障害物を検知できません。

■品質向上を目的に予告なく仕様を変更する場合があります。 ■印刷物と実物では色が多少ちがいますのでご了承ください。



三和シャッター工業株式会社

<http://www.sanwa-ss.co.jp/>

- 商品に関するお問い合わせは **03-3346-3011**
(土日祝を除く平日 9:00~17:00) さんわさんわ い〜な
- 修理に関するお問い合わせは **0120-3030-17**
(年中無休・24時間対応)

●お問い合わせは